

公益信託世田谷まちづくりファンド

第28回助成事業 審査講評

はじめの一步部門

< 1-2 世田谷ごちゃまぜふくしSDGs >

- ・この横断的なメンバー構成は、審査する側からみてもわくわくしてきます。コロナ禍の中で自由な交流の機会が限られていることが残念ですが、オンラインなどを組み合わせて知らない人、知らない場所とつながり、世田谷の「ごちゃまぜ」をつくりだすことを期待しています。

< 1-3 JC@Home >

- ・日本の社会、日本の地域が十分にサポートすることができていない部分を、丁寧に作り出していくような、切実な、そして素晴らしい活動だと思いました。おそらく、グループだけでは担いきれない問題も多く出てくると思いますので、1年の活動を終えて「何ができて、何ができないか」という情報をしっかりとまとめて、発信をしていただければと考えています。

< 1-4 ひきこもり居場所カフェ >

- ・喫緊の課題に応える重要な取り組みだと思います。子ども、高齢者、障がいのある方、を対象とした取組みに比べて、いわゆる青年～中年世代で生き辛さを感じている方々を対象とした取組みが、相対的に少ないと感じています。はじめの一步部門からの応募でしたが、来季はぜひまちづくり活動部門にご応募いただいて、一段と充実した取組みを展開していただければと思います。

< 1-5 起業女子部イヴの木 >

- ・テーマとしている視点は大変重要で、防災のスタンダードになるべきものと考えます。使用されている用語を正確に用いることと、参加して欲しい対象を明確にされると良いと思います。また実施にあたっては、世田谷区の防災計画上のジェンダー視点はどのようになっているのか、ある程度調べた上で臨まれるとなお良いと思います。